

品川区 高潮浸水のハザードマップを更新しました

区の高潮浸水ハザードマップは、想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域、避難場所等を示しています。東京都が令和6年12月19日に公表した「高潮浸水想定区域図」をもとにハザードマップを裏面のとおり更新しました。

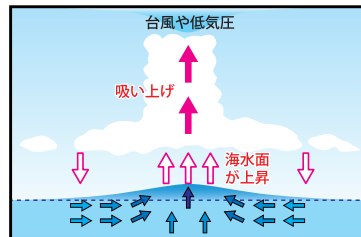
浸水想定区域、浸水深、浸水継続時間に変更がありましたが、これまでの想定から大きな変更はなく、避難場所はこれまでと変わりません。この機会に、改めてご自身の浸水リスクを確認のうえ、日頃からの備えをお願いいたします。

高潮ってなに？ 台風の際は気をつけよう！

高潮は、台風等による強い低気圧と強風の影響で海面の水位が上昇する現象です。満潮と重なると、大きな災害になるおそれがあります。なお、海からの浸水で、高潮は台風等によって発生しますが、津波は地震によって海水全体が動くことで発生する点に違いがあります。

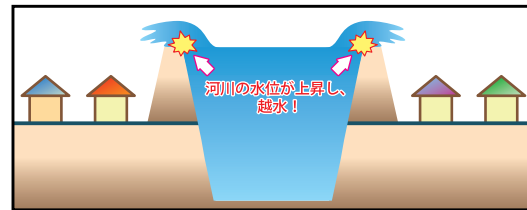
■ 気圧低下による海面の吸い上げ

台風の中心気圧は周辺より低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。



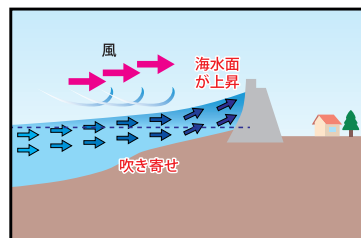
■ 海から離れていても河川氾濫に注意！

河川では、高潮の影響で水位が上昇し堤防を乗り越えて氾濫したりするなども想定されます。



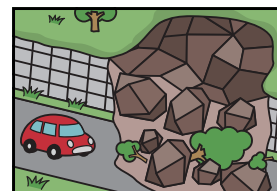
■ 風による吹き寄せ

台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。



■ 土砂災害にも注意しよう

大雨などによって、山やがけが崩れ、建物が押しつぶされたりします。ハザードマップでは、「土砂災害警戒区域」を黄色、「土砂災害特別警戒区域」を赤色の枠で示しています。



品川区防災ポータル・アプリを始めました。

品川区ホームページとは別に品川区の防災情報専門のポータルサイト・アプリを始めました。避難情報発令や避難所の開設、混雑状況などを確認することができます。また、平時の品川区の防災の取り組み、お知らせも閲覧できます。



問い合わせ先：品川区防災課 03-3777-1111（代表） 令和7年5月発行

避難情報ととるべき行動

危険度に応じてとるべき行動を5段階の「警戒レベル」で表しています。レベル3より区が避難情報を発令し、区民の皆様にお知らせします。事前にとるべき行動の確認をお願いいたします。

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
警戒レベル5 	緊急安全確保	災害が発生、または切迫した状況。屋内への緊急避難など直ちに命を守る行動をとる（垂直避難等）。
～〈警戒レベル4までに必ず避難！〉～		
警戒レベル4 全員避難 	避難指示	浸水しない地域に速やかに全員避難を開始する。
警戒レベル3 高齢者等は避難 	高齢者等避難	避難に時間を要する高齢者等は避難を開始する。その他の人は避難準備をする。
警戒レベル2 	注意報	ハザードマップを見て、災害に備えた避難行動を確認する。
警戒レベル1 	早期注意情報 (警報級の可能性)	天気予報等を見て、災害への心構えを高める。

※内閣府（消防担当）・消防庁より引用

風水害に備える

■ 避難場所の開設

区では風水害から避難するための避難場所等を開設します。開設状況は区のホームページ等で広報されます。

● 自主避難施設

区内に被害をもたらすような台風の直撃などに際し、自宅での滞在に不安を感じる方を受け入れる施設です。台風の規模などに応じて、区が開設を決定します。

● 避難場所

避難情報の発令等に際し、危険を回避するために避難者を受け入れる場所です。避難情報の発令に併せて区が開設を決定します。浸水、土砂災害に対する避難場所があります。

■ 日頃から備えるために

● 品川区防災地図に差し込んでおこう

品川区防災地図は、高潮浸水の他、大雨による浸水、多摩川洪水、土砂災害のハザードマップを一冊にまとめて掲載しています。本紙を品川区防災地図 P24・P25 の間に差し込み、保存をお願いします。

● しながわ防災ハンドブックで防災対策を！

品川区では、備えの方法、避難の方法などをまとめた「しながわ防災ハンドブック」を作成しています（緑色はマンション居住者向けです）。各ご家庭での防災対策にお役立てください。

● 各冊子は防災課窓口、地域センターで配布しています。

ハザードマップ凡例
自主避難施設



避難場所



(浸水)



(土砂)

